学校番号	T3016

令和８年度　理　科

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	２単位	年次	４年制４年次
使用教科書	i 版　化学基礎（啓林館）						
副教材等	授業プリント						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

これまで習ったことをもとに、観察や実験を通して、学習内容と日常生活の結び付きに気付く授業を実施します。それによって、化学が日常生活にもたらす豊かさや問題点に気付き、興味関心を高めましょう。少し計算等があったりもしますが、観察・実験等を通して楽しみながら学んでいきましょう。

２　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	物質とその変化について、応用的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 物質とその変化に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得する。それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	物質とその変化の中に問題を見いだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について関心をもち、意欲的に探究しようとする。 それを通して科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	化学と人間生活	原子の構造 電子配置 イオンの生成（＋エネルギー） 元素の周期表 金属と金属結合 分子と共有結合	a: 物質の構成に関する観察、実験を行い、化学的に探究する方法を習得する。原子番号 20 番までの元素記号について理解し、知識を身に付けている。 b: 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を考察し、各結合について電子の観点から考えることができる。物質の構成に関する観察、実験の過程や結果を的確に記録・整理できる。 c: 観察・実験や班活動を通じて意欲的に取り組み、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。また、振り返り等で実生活と結びつけようとしている。	定期考査 確認テスト 提出プリント	定期考査 提出プリント（思考する部分）	提出プリント（振り返り） 観察・実験レポート
後期	物質の構成	原子量・分子量・式量 物質量と粒子の数 物質量と質量 酸と塩基の定義 水の電離と pH 水溶液の希釈と pH 測定 探究活動	a: 原子量・分子量・式量の意味や物質量の定義を理解している。mol がなにかどのように扱うかを理解している。また、酸と塩基の定義を理解し、希釈や pH 測定の技術を身につけている。 b: それぞれの計算問題について理解しながら取り組むことできている。単位から考えて、何を表しているかを理解することができる。 c: 観察・実験や班活動を通じて意欲的に取り組み、科学的な見方や考え方を身に付けようとしている。また、振り返り等で実生活と結びつけようとしている。探求についても主体的に参加し、自由な発想で取り組むことができる。	定期考査 確認テスト 提出プリント	定期考査 提出プリント（思考する部分）	提出プリント（振り返り） 観察・実験レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度